

## 地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和7年1月17日(金)午後3時00分～午後4時00分
地 区	松塚地区
場 所	松塚ふれあい館
参加人数	11人

### テーマ1 超高齢者社会について

#### 主 旨

- 昨年、保険に関する出前講座を開催したところ、松塚ふれあい館の会場がいっぱいになるくらいの参加があり、皆さん真剣に話を聞いていた。松塚地区は住民の平均年齢が60歳にもなる高齢化の進んだ地区であり、みんな今後に不安や悩みがあるものの、どこに相談すればいいのかわからないといった根本的な課題を抱えている。
- 介護保険料を見るたびに高いように思う。府内で見るとむしろ安い方だということもわかっているが、そのあたりも少し話をしていただきたい。

#### 市 長

- 松塚地区は他の地域に比べたら平らな土地であり、地区内に交野病院もある。一方で、買い物ができる場所が地区内にはない。京阪バス撤退後にはなるが、外出支援として一時間に一本のワゴン車を市で走らせ、交野市駅や青年の家、ゆうゆうセンターまで移動できる体制を整備し、その周辺のスーパー等を利用できるようにしていきたい。
- 介護保険については、大阪府下33市の中では交野市が最も安い金額設定をしている。標準的な金額で言うと月額5000円、大阪市などであれば9000円台であり、全国的に見ても交野市は安価な方である。基金の一部を使い、できるだけ市民の皆様の負担が大きくならないように介護保険料の引き上げ分を抑えることができた。国民健康保険については、今年度から大阪府で統一されたことにより高額となってしまったので、できるだけ介護保険料の方では負担が増えないように取り組んでいる。
- 外出支援について、全国的にみると、家の近くまでワゴン車で迎えに行ってどこかに送迎するという事業をやっている地域もあるが、ワゴン車では運転手を除いて最大9人程度しか乗れないため、星田など路線バスの利用者が多いエリアにおいては需要を満たすことができない。現時点では、一時間に一本の定時・定路線の外出支援を実施しつつ、将来的な状況を見極めながら、今後どのような公共交通が良いのかを調べていきたい。
- 寝屋川市でもワゴン車での送迎を実施している地域が3エリアあるが、家までは迎えに来てくれるものの、降車できるのは同一エリア又は近隣のバス停に限られる。交野市ではバス停まで行けてもあまり意味がないので、そういう形態の事業はなかなか取り入れにくいと思っている。交野市としては、住居の近くにバス停やワゴン車を停める場所を用意し、鉄道駅や公共施設の付近にバス停を設けて、必要な場所へ移動できるようにするという公共交通の整備を進めている。

## テーマ2 防災について

### 主旨

- 先日フェスタを開催した際、アンケートで「祭りは高齢になれば参加できなくなるから、防災にもっとしっかり力を入れてくれ」という回答があった。これを機に、防災についても考える必要があると思っている。松塚近辺の指定避難所は郡津小学校だけだが、他に選択肢はないものか。
- ハザードマップでは松塚地区は内水に注意しなければならないとされているが、内水に対して我々はどう動けばいいのかを知りたい。また、住民の皆さんには、この機会に防災について関心を持ってほしい。

### 市長

- 私の意見としては、防災とお祭りは別物であり、主な参加者の世代の違いもあるので、両方やっていける方が、より多くの方が地域のイベントに参加でき、地域の親睦にもつながるのではないかと思う。
- 松塚は、過去に大阪府が梅が枝とセットでまちづくりをした際の造成により、他の地区に比べると比較的安全な地域になっている。京阪交野線の東側に比べれば嵩上げされており、土砂災害警戒区域、特別警戒区域にあたるところがない。また、内水の浸水も極限的なものとなる想定である。
- 一方、地震については被害が出ることが想定される。避難所に関しては、松塚公園を指定避難所にするための手続きを進めている。交野市内の多くの地域においては、地区内に避難所がある、または隣接地区に指定の避難所があるという状況だが、松塚には交野会館しかなく、また、耐震性不足のため風水害時ののみの避難所である。ただ、交野会館は地区の会館なので、市がどのようにしてほしいとお願いするのではなく、まずは地区で今後会館をどうしていくべきか検討してほしい。地域の意見を集約していただいたうえで、市も一緒に今後の会館のあり方を協議・検討していきたいと思っている。
- 郡津小学校の体育館には令和8年度にエアコン設置と、トイレの大規模改修を予定している。また、令和6年度から令和8年度の間に、全ての避難所へのエアコン設置及びトイレの大規模改修が完了予定である。また、避難所環境整備の一環として、マンホールトイレや携帯式トイレの備蓄整備に加え、トイレトラックを1台とトイレカー2台を購入しており、2月には循環式シャワートラックが2台納車される予定である。
- 避難所の運営や訓練などに関しては、危機管理室に相談や提案をいただければ、できる限り協力したいと思っている。

### 意見

- 現在、府営団地の住民は165世帯、298人となっており、80歳近くの方が多く、介護が必要な方が10名ほど住んでいる。災害時にそういった人たちを避難所である郡津小学校や松塚公園まで連れていくのは無理があるので、この集会所で様子を見るしかないと思っている。こういった課題を市長にご相談したい。なにかいい知恵があれば教えていただきたい。  
→[市長]他の地区の事例を交えてお話しすると、梅が枝も松塚同様、地区内に避難所がなく、隣接する地区にも避難所がない。そこで梅が枝では地区内で検討を重ね、市や大阪府とも相談しながら、集約建替という方法で建て替えする判断をした。現在の建物の150戸ほどある空き部屋を活用し、一棟を空にしたうえで取り壊し、8~9階建ての建物に建て替え、今度はその新し

い建物に住民が引っ越しといった方法を順次繰り返し、10年～20年かけて全体的な戸数を減らしていくという取り組みである。これは梅が枝に限った話ではなく、他の地区でも府や市と話し合って、そういう検討をすることはできる。また、梅が枝では、集約化によって生じる空き地を売却する方向で検討しているので、そこに新しく建物を建てて、避難が困難な松塚の住民はそちらに引っ越しするという方法も考えられる。

松塚の団地は構造上、螺旋階段のようになっているので、エレベーターを設置するにしても、例えば5階建てであれば住宅10軒あたり1台のエレベーターを設置しなければならず、非常にハードルが高い。一方で、8階、9階建ての建物に建て替えれば、住宅が100軒あってもエレベーターは1～2台で済むので、より効率的になる。是非、該当地域でしっかり意見をまとめて、市や府に相談してもらいたい。

松塚地域の会館や避難所のあり方についても、地域の皆さん 의견をまとめてもらえたらいと思っている。財政措置としては、防災関係の整備については国の補助を7割受けられるような制度もある。そういうことも踏まえて、意見を取りまとめて、要望として出してもらえる方が市としても動きやすい。

- 地域の避難所や会館を住民が作りたいとなった場合、その費用はどうなるのか。現実問題として、住民負担で全額を賄うのは不可能だと思われる。  
→[市長]会館の維持管理や改修にかかる費用は基本的には住民負担となるが、例えば耐震工事をするとか、エアコンを設置するとかいう場合には、一定の条件を満たせば、市から3～4割の補助が出る。避難所の整備については、地域内や隣接地域に避難所がないという場合は、場所や建物の検討も含めて、市と地域で相談が必要になると考えている。
- 松塚は財産区もなく、財源がない。住民負担で会館や避難所を建てるのは不可能だと思う。最近の大規模災害の報道等を見て、地区の住民は不安に思っている。何かいい方法はないか。  
→[市長]交野市内の22地区のうち、14地区は財産区等を持たない新興住宅を中心とした地区である。私としても特にこの14地区の避難所に関してはしっかり整備する必要があると思っている。避難所の整備にあたっては、市と地区の間でしっかり話をして検討していくなければならない。市が国の補助金等を活用して避難所を建てようと思っても、住民に反対されれば実行できないので、住民の意向を踏まえながら進める必要があると考えている。
- [区長]交野会館に防災拠点を作る際も、地区内に避難所がないからということで、赤十字等から資金援助を受けて、パソコンや Wi-Fi を設置し、体制整備することができた。そういう方法を検討することもできると思う。あるいは、大震災が起きた場合、もちろん近隣の避難所も活用するが、最後の手段として、松塚公園にテントを建てれば生き延びることはできるだろうとも考えている。

また、平均年齢が80歳近い地域で、自分の避難にも困難がある状況で、そもそも本当に他人を助けることができるのか、実際に何ができるのか、そういう点を考えなければならない。介助が必要な当事者にも、例えば本当に5階に住んでいていいのか、自力で何とかする方法はないか等を考えていただく必要があると思っている。皆さんのが地域での助け合いを真剣に考えてくれていることは嬉しく思う。それと同時に、自助という言葉を大切にしてほしい。まずは自分を助けるためにすべきことを考え、そのうえで、余力があれば他人を助ける方へ回してほしい。また、地区でも話し合いの場を設けたい。

- 交野会館を耐震化し、地震の際にも使える避難所にする場合、国や市の補助を活用して住民負担を無しにすることはできないのか。  
→[市長]交野会館は一等地にあり、また、現在の利用実態から見ても避難所ではないため、答えるのが難しい。市が費用負担して整備した会館で、区が部屋の有料貸出などをして収入を得るのは問題がある。さらにこの地区には合計3ヶ所の会館があるので、もし交野会館を避難所として整備するなら、他の2ヶ所は市に渡してもらうなどの対応が必要になるとを考えている。地区で負担して耐震化するならいいが、松塚だけ市が全面的に負担するというのは難しい。

### テーマ3 市道の管理について

#### 主旨

- 草刈りと植栽を市の予算で計画的に実施していただきたい。また、防犯灯や照明灯の整備をお願いしたい。

#### 市長

- 防犯灯の電気料金は、地区からの請求を基に90%以上を交野市が補助という形で負担している。電灯が切れているところなどは、情報提供をいただければ適宜対応する。地域で防犯灯の設置要望等があれば、場所の候補などについて意見を取りまとめたうえで、危機管理室に相談してもらいたい。
- 道路や公園等の除草については、各担当課で相談を受け付けている。街路樹について、できるだけ地区的意見は反映したいが、特にケヤキなどの大きな木については、住民の意見が様々なので対応が難しい。例えばコクヨの緑化事業団から、木を植えることは無償でやるという申し出を受けているが、抜いたり伐ったりするのは対象外なので、地区の方々とよく話し合う必要があると思っている。
- 場所によっては、歩道や道路の幅から考えると大きすぎる木が植えられており、根がアスファルトを壊しているところがあるのも把握している。ひと思いに伐採することも選択肢の一つだが、それによって私が直接苦情を受けることもある。地区でしっかりと意見統一してもらい、それに沿った環境整備を進めていきたいと考えている。

#### 意見

- 今年度、市で道路の除草等を実施してもらい、助かったのでお礼を言いたい。また、来年度も継続して対応いただけたとありがたい。
- 松塚公園の避難場所指定は、できれば早く対応いただけたとありがたい。地震への対策をどれだけきめ細かくできるかというのが、松塚地区の防災にとって重要なことだと思っている。また、戸建て住宅はどの程度の被害が出るのかわからないので、事前診断等の補助はないか知りたい。震災後に引き続きそこに住み続けられるのかどうかも気になるところだと思う。そういうところも含めて、バックアップできる体制や仕組みづくりをお願いしたい。  
→[市長]松塚公園の指定は令和7年1月中に実施したいと思っている。また、指定避難所に指定すれば整備面でもメリットがあり、例えば、公園にパーゴラを設置しようとすると全額市の負担で200万円ほど必要になるが、防災用として東屋を設置すれば国が7割負担してくれる制度の適用対象となる。また、地域の方々と改めて相談したい。

耐震診断については、都市まちづくり部に相談してもらえば、全額ではないが補助が出る。阪神淡路大震災以降の新耐震基準に則って建てられた住宅であれば、ほとんどの場合、耐震性があると思っているが、それ以前の建物は確認した方がいい。また、府営住宅については耐震性があるとされているが、建て替えした方が間違いなく安全性等は向上する。

- あおいクリニックの前の道路について、特に他の地域から来た車などだと、優先道路の認識が共有されていないことがあり、非常に危険な状態になっている。例えば、そこを一方通行にするなどの対策をすれば解決するのではないかと思う。交通ルール等の管轄は警察だと思うが、市で何か対応できないか。  
→[市長]一旦停止や一方通行化など、交通規制については、基本的に交野警察から大阪府警に上げ、公安委員会で検討するといった流れになるが、いきなり交野警察に行くのではなく、まずは地域で話し合いをしてほしい。交通規制をかけると不便を感じる方もいるので、意見を集約して危機管理室等にも相談したうえで、警察に相談や要望に行くのがいいと思われる。

以上